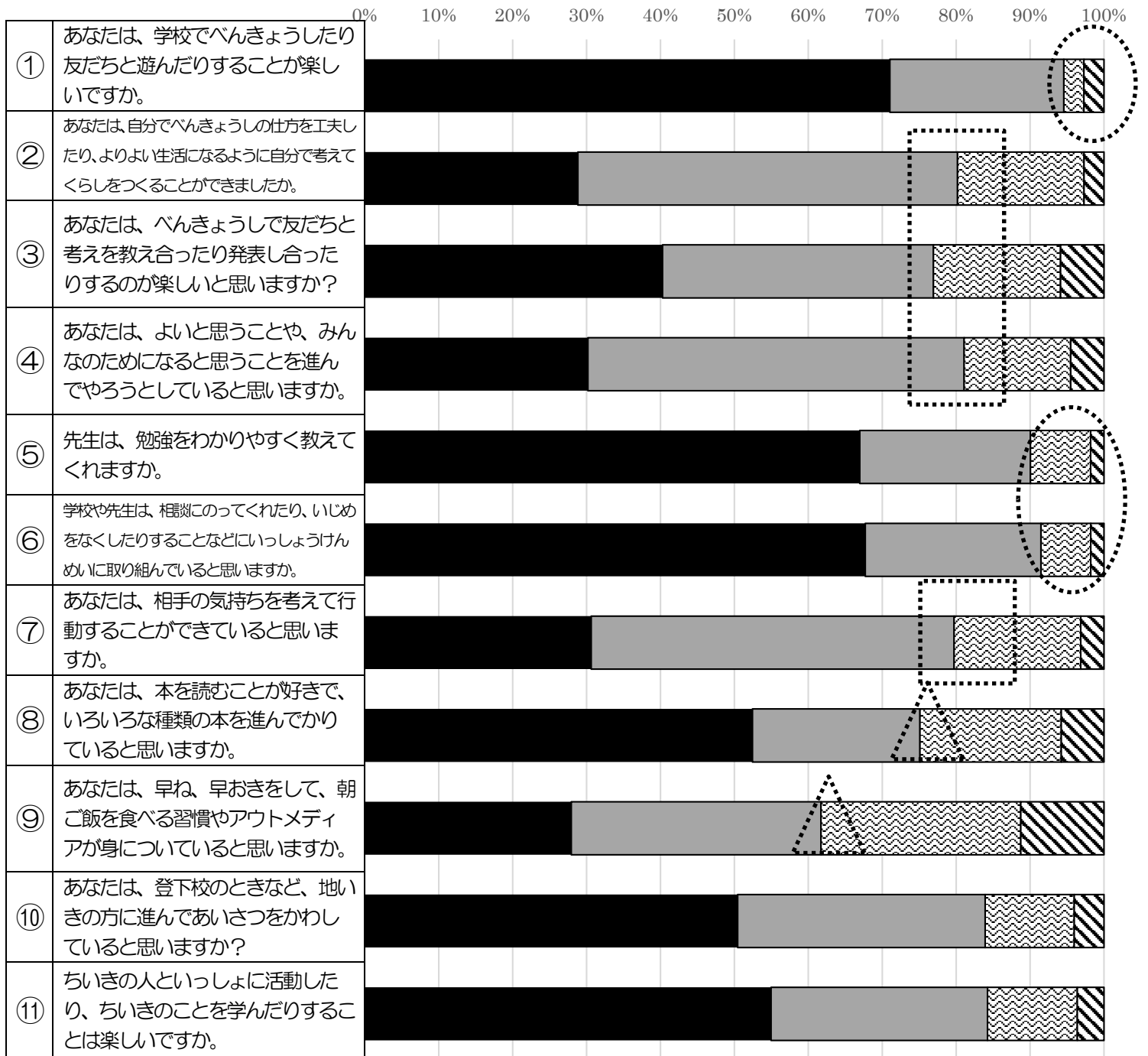


H30 学校評価 児童アンケートの結果の推移

<棒グラフ左から A:よくあてはまる B:おおむねあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない>



◎①学校で勉強をしたり友達と遊んだりすることが楽しいという回答が90パーセントを超えています。学校で学習したり、友達と関わったりすることで、自分の成長を自覚できたことが楽しさにつながっていると考えられます。

◎⑤90パーセント以上の児童が、先生は、勉強をわかりやすく教えてくれると回答しています。子どもがわかったと実感できる学習を積み重ねることができたことと捉えています。今後も子どもの文脈を意識した授業づくりに努めていきたいと思ひます。

◎⑥学校や先生は相談に乗ってくれたり、いじめをなくそうと一所懸命に取り組んでいたりすると90%近くの児童が回答しています。二者面談や個人面談の成果と考えられますが、10パーセントの児童がまだ十分ではないと考えていることを真摯に受け止め、取り組んでいきたいと思ひます。

▲②③④⑦勉強を友だちと教え合う・みんなのためになることをすすんでやる・相手の気持ちを考えて行動するなど、他者との関わりに関する内容についてうまくいっているという思いを持っていない傾向が見られます。心地よい他者とのつながりが持てるよう個々にあわせた指導を重ねていく必要があると考えられます。

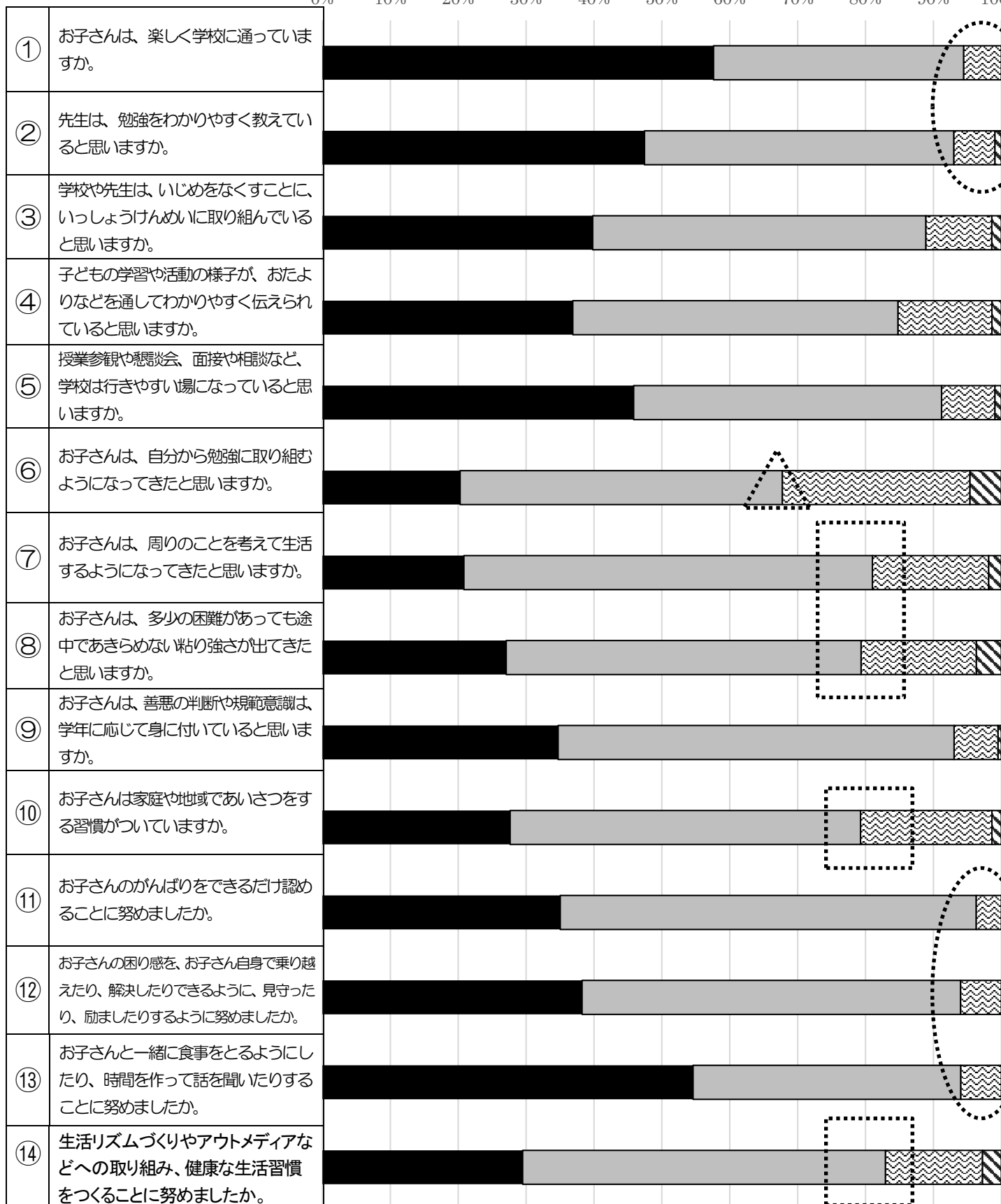
▲⑧アンケートの中で昨年度より大きく数値が下がりました。学級での読書の時間は大きく減少しておらず、読み聞かせ活動も充実して本とのふれあひはあると思ひています。いろいろな種類の本を借りて読む、読書習慣づくりに力を入れていきたいと思ひています。

▲⑨規則正しい生活やアウトメディアへの取組みを進めています、できていると回答している児童が60%程度に止まっています。

H30 学校評価 保護者アンケートの結果の推移

<棒グラフ左から A:よくあてはまる B:おおむねあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない>

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



◎①②90%以上の保護者から、お子さんが楽しく学校に通っている、勉強をわかりやすく教えている、と回答していただいています。ご家庭でのエネルギーの十分な充電と、一人一人の子どもを理解し、個に応じて指導を積み重ねている成果ととらえたいと思います。⑪～⑬について、保護者の方が、おうちでお子さんの頑張りをほめたり、困っているときに励ましてくださったり、時間をとって話を聞いてくださる保護者の方が多くいらっしゃいます。子どもの学校での安定したくらしづくりの土台は、家庭ですので、これからも、学校との連携を図りながらよろしくお願いいたします。

▲⑥⑦⑧⑩については他の項目と比較し低い数値になっています。主体性を育み、周りのことを考える・あいさつをするという周囲とつながる力、そして粘り強く努力する忍耐力がまだ十分育っていないというご指摘と捉えます。子どもたちが自分の課題に向き合い、自尊感情をや共感的なかわりを育む教育活動をすすめていきたいと考えています。